

<街道ウォークin北勢> 開催日:19年2月3日(土)終了しました

八風道は四日市市富田一色を起点としてすぐに東海道と交差し、大矢知、平津を経て菰野町田光で巡見道と合流する道である。

巡見道以西は、八風越の道が八風峠を越え、滋賀県に至り、近江八幡市武佐町(中山道武佐宿)まで続いている。鈴鹿の山々を越える道は、八風峠を越える八風越(田光越)と、根ノ平峠を越える千種越(根平越)があり、滋賀県の東近江市永源寺町で合流している。

歩いてみよう 八風街道

2月3日、凜と張りつめた真冬の空の下、三岐鉄道平津駅前には、街道の歴史を訪ねるウォークとあって、170名を超える参加者が集まった。



開会式



かつては多くの近江商人達が行き交った大矢知陣屋界隈の屋並。



大矢知素麺の始まりは、一人の旅の僧侶が、朝明川のほとりの農家に一夜の宿乞いをし、その親切なもてなしのお礼に素麺の作り方の秘伝を伝えたのが始まりである。

最盛期に300軒ほどあった生産者も、現在は20軒弱に減少しているが、厳冬期に生産され、手作業で延ばして天日乾燥する「門干し」作業は、冬の風物詩になっている。

【コース】

三岐鉄道平津駅 → 平津郷土資料館 → 八幡古墳 → 八風街道 → 大矢知陣屋界隈の屋並み → 真西寺 (忍藩士の墓) → 大矢知手延べそうめん工場見学 → 大矢知陣屋跡・興讓館跡 → 緑華山観音寺 → 三岐鉄道大矢知駅前

行程 約6km



西側に、「右四日市みち」、「左くわなみち」、南側に、「左たどみち」、北側に、「右こものみち」が刻まれている道標(大矢知の十字路)



八幡古墳玄室部



真西寺山門



真西寺(忍藩士の妻や子供の墓がまつら



松の大木が往時をしのばせる陣屋跡(現在大矢知興讓小学校)



緑華山観音寺